



学校だより

平成29年11月22日 発行

平成29年度
多古町立中村小学校
校長 宮内 進



初めての『命の授業』



奥には本物の妊婦さんが！

10月25日（火）5年生が県助産師会元会長の齋藤葉子先生の「命の授業」を保護者の皆さんと共に受講しました。先生は「私たちのからだと命の誕生」など、性差を考慮した健康支援、生命の大切さを訴える講演会を多数行っています。

私は十数年前、教員向けの千葉県性教育研修会で「男女が互いに尊重し合うことの大切さ」を熱く語る齋藤先生に出会い、多古町にこんなすごい方がいるんだと、感激しました。

今回は、生命誕生の奇跡、思春期の心と体の変化について、真剣に、またユーモアを交えてのお話を聞き、妊婦体験や胎児体験、おむつ替え等の体験を通して多くのことを学びました。産前休暇直前の鈴木先生の赤ちゃん（胎児）の心音を聴くという「初の体験」もありました。保護者の方や子供たちの感想の一部を紹介いたします。

【保護者の方から】
○心も体も第二次性徴まったただ中の娘の接し方に少し悩んでいたこともあり、とても参考になりました。このような素晴らしい授業はずっと続けていただきたいと思えます。
○出産の思い出を久しぶりに子供に話しました。生むのも生まれるのも互いに大変なんだと改めて感じました。
○子供たちもいろいろな体験を楽しみながら、命の大切さを考える良い時間になったと思います。心が温まる授業でした。

【児童の感想】
○心に残る授業でした。齋藤先生は「反抗期はあって良い」と教えてくれました。「反抗期になった」と言われ、傷ついていましたが、安心する事ができました。
○鈴木先生の赤ちゃんの心音を聴かせてもらいました。「トクトクトクトク」自分より速く動いていることを初めて知りました。
○首を支えてあげて、上手に抱っこやおむつ交換ができて良かったです。将来私も上手に赤ちゃんの抱っこができるかなあ。
○妊婦体験、重くてしゃがみづらくて大変でした。靴下をはくだけでも大変でした。

美しい歌声と元気なお囃子を披露

多古町音楽会では「ハロー・シャイニング・ブルー」と「未知という名の船に乗り」、美しいハーモニーを聴かせることができました。お囃子はリズムカルで迫力ある演奏を披露しました。

ご報告

10月27日、28日 郡市ミニバスケットボール大会 男子は優勝した八都第二小に準決勝で惜敗し、3位。女子は準優勝の小見川北小と前半は互角の戦い、後半力及ばず敗退してしまいました。男女ともさわやかさが光っていた大会でした。

11月15日 学校公開・ミニ集会 大勢の方にお越しいただきました。ありがとうございました。美しい漆黒の麻薬探知犬が多古町出身の女性ハンドラー（訓練士）に連れられ登場、デモンストラーションでは6年生児童が隠し持つ「麻薬？」を見事に当ててみせました。

11月16日 6年生児童が職場体験学習 さわやかな挨拶と返事、どの職場でも評判でした。さすがは中村小のリーダーです。

《お礼》今年も 西谷 高橋 保 様から素敵な菊の鉢植えを頂きました。ありがとうございました。

